

第 12 回議会報告会における各質問や意見に関する議会回答

去る 7 月 19 日に開催しました第 12 回安曇野市議会報告会において、参加した市民のみなさんからいただいた質問及び意見に関する議会としての回答をまとめました。

別途掲載している「議会報告会実施報告書」は、報告会当日の議員の発言を訂正することなくまとめたものですが、本回答はその後、各委員会でも検討を重ね、議会としての現時点での最終回答としたものです。

市民のみなさんからいただいたご質問、ご意見は、今後の議会活動及びそれぞれの議員活動の参考にさせていただきます。

【質問概要 1】

能登半島で大災害が起こった。いつ何時災害が生まれるか分からない状況の中で、大学の先生、専門家を呼んで勉強会を行った。パート 2 として、安曇野市の危機管理室の関係者の担当係長などをお呼びして、いろいろと質疑応答をさせていただいた。危機管理室の対応として前向きというか、積極的な回答でなかったような気がしている。この点について改善方向になっているか。

【回答】

安曇野市は断層の上にあるので、30 年以内に地震が来る確率が高いということを言われている。我々も、市行政も含めて認識をしている。個々のことはまだまだ課題がたくさんあるが、行政と協力をして、議会としてもこの問題をさらに進展できるように進めていきたい。そして、危機管理課の災害への対応にも注視していきたい。

【質問概要 2】

安曇野市の基幹病院として安曇野赤十字病院がある。安曇野市長が赤十字病院運営委員長に着任するというルールはあるのか。支援する側の安曇野市長が、運営の長を務めることに違和感があるが。

【回答】

安曇野赤十字病院運営協議会の市側のメンバーは、市長・副市長・保健医療部長の 3 名である。市長は令和 4 年 11 月 7 日 第 2 回運営協議会より、病院側の依頼でメンバーとなっている。また 市長は、現在安曇野赤十字病院運営協議会規程により運営協議会会長を務めている。

【質問概要 3】

最近、西山でも東山でも熊の出没の目撃情報が結構出ているが、議会として耕地林務課に対策として何か要請しているものというのはあるか。

【回答】

熊用の大型おりを設置、ツキノワグマの個体数調整等の業務委託を安曇野市猟友会と結び予算額は 1,536,750 円となっている。熊の目撃情報等は、メールや LINE 等により迅速に市民に伝えています。

【質問概要 4】

地下水の件だが、例えば今の工場とか新しいいろいろなものが進出してきたときに、土地さえ買えばその地下水はただなのか。ボトリングされて安曇野の水が売られている。それに対して1本幾らとか、安曇野市として問題意識を持って対応しているか。

【回答】

大切な公水ということで極めて重要視している。安曇野市では、「安曇野市水環境基本計画」を策定し、地下水の保全及び涵養並びに適正利用に向けた取り組みを行っている。地下水低下によって、ワサビ田をはじめいろいろなところに影響が出てきているので、地下水の涵養をしっかりとってほしいと市には伝えている。

【質問概要 5】

条例として、1リッターだか1本だか、それをくみ上げればどのぐらい、安曇野の基準が必要じゃないか。議会であつたり、市であつたり、そういうことをテーマとして公にしてほしい。

【回答】

農業とか観光の関係でも水は使われる。地下水のくみ上げについては、以前からくみ上げているところはボトリングしている。新たに事業者が井戸を掘って水をくみ上げることは、安曇野市では条例による手続きを経なければできないことになっている。

御質問は、業者は地下水を販売しているのだから協力金をいただき、例えば地下水の涵養をやったらどうかという御提案だと思うが、市もそういった考え方で一時議論をしていたと思うが、まだ実現に至っていない。

【質問概要 6】

ハラスメントといっても、多様なものがあるので、必要十分な状況になっているのか。カスタマーハラスメントが「ハラスメント防止条例」の中に含まれているか。

【回答】

ハラスメント処理委員会が公平・公正にしっかりと審査したうえで、是正措置も取られるようになっている。カスタマーハラスメントについては、条例の中では、色々なハラスメントがあるので、「その他の」という部分に包含している。

【質問概要 7】

何で早く「ハラスメント防止条例」を築き上げない、できないということが非常に不思議に思う。条例を決められないなら、私は委員長を降りてほかの委員の中から選定して条例を決めてもらいたかった。早くこの条例を決めてもらいたい。

【回答】

もっと早くという思いは、おっしゃる通りだと思う。多様な意見があり、慎重に内容を検討し9月定例会を目指している。

【質問概要 8】

9月では遅過ぎる。9月なんて秋の収穫時期。委員長のんき過ぎる。

【回答】

9月定例会の最終日に議員提出議案として上程され、本会議で可決されなければ、条例として施行されない。

【質問概要 9】

「ハラスメントの相談は、公平に受けるため、議長が指名する相談員2人以上で対応する」ということだが、実際の運用の際にはどうしても人が関わる、恣意的な状況というのが生まれてくる可能性がある。それを防止するための方策を、規定しておく必要がある。

ハラスメント処理委員会とか、弁護士等の有識者から意見を聞くということも含めて、きちんとした段階を明確に定めておく必要がある。

弁護士等の意見を聞くことができるのか、あるいは必ず聞いて参考にする、生かしていく規定なのか。

【回答】

恣意的な状況を生まないために、相談員を2名以上とした。また、相談者が自分でも相談員を1人選べる。公平・平等にきちんと話を聞いていく。また、ハラスメント処理委員会でしっかりと審査して、処理委員会で弁護士等の意見を聴くか判断し、聞いた場合は、その意見を十分に尊重する。

【質問概要 10】

「ハラスメント防止条例」を運用していくためには、議会、議員の資質を高めていくことが必要。条例が適用にならないような状況が生まれてくることが一番理想。私どもはそれを求める。

【回答】

条例には、ハラスメントの防止及び根絶を図るために、必要な研修等を実施し、十分議論を深め、防止の意識を高めてハラスメントが起きないように、議会、議員の資質を高めていきたい。

【質問概要 11】

議場でコンサートをおやりになりました。積極的にこういうものに取り組んでやっていったらどうか。

【回答】

行政とも連携し、開かれた議会をめざしての取り組みを増やしたい。

【質問概要 12】

安曇野市で不安に感じるのはPTAが存在しない学校が増えていること。子どもの権利に関する条例の条文で、親に対するアプローチをどのようにするか。親に対するアピールをプラスアルファしてほしい。

【回答】

子どもの権利について、子どもへの啓発ももちろんだが、我々大人も知っていく必要

がある。例えば学校の先生、家庭における親、地域における大人たちに対してもしっかりと条例の趣旨、理念の啓発に努めていく。「子どもの権利に関する条例」案では第 7 条市民の役割（１）で家庭における役割を明記している。

【質問概要 13】

「子どもの権利に関する条例」案で第 3 条基本理念では 4 項あるが、子どもの権利の規定がどこにもないが。

【回答】

子どもの権利条約は全 54 条にわたり多くの権利を規定しているが、これらをすべて条例に盛り込むことは現実的ではなく、一方、いくつかを個別に列挙することは権利を限定的に捉えられる懸念がある。条例前文で「児童の権利に関する条約、日本国憲法及び子ども基本法の理念に基づき」と明記しており、本条例はそれら上位法に基づくものである。

【質問概要 14】

9 月議会では、採決はどのようになるのか。委員会付託は議運が決めるんでしょうけれども、福祉教育委員会に付託するわけにはいけないと思う。いきなり議場で採決ということになるのか、審議の経過というのはどういう形で残るのか。

【回答】

審査の経過としては、議会として政策討論会を開催して様々な意見を聞いてきた。委員会付託も含め、最終日の採決の方法については検討していく。

議員発議の議案は、最終日に提案されてそこで採決をすることになる。この議案についても、福祉教育委員会全員で議案を提出されるとすると、委員会付託が必要かどうか、委員会付託のような形で委員会等でない事前の議論を、必要だとすればどういった形で行うのか、本会議はどうするのか、しっかり議会運営委員会等と相談して方向づけしていく。

【質問概要 15】

「子どもの基本条例」を決めるというが、大人が決めていいのか。あるいは父母との意見交換をしているのか。

【回答】

条例制定にあたり、市内児童生徒等に子どもの権利に関する意識アンケートを実施している。

また市内高校生との意見交換会や市民説明会で子どもの意見を聴いて参考にしている。保護者とは市 PTA 連合会幹事の方との意見交換会や市民説明会で意見を聴いている。パブリックコメントも実施している。

【質問概要 16】

子どもの意見表明権を重視しているが、その表現の手段として相談窓口が必要ではないか。

【回答】

子どもの意見表明については、条文では第3条（4）、第6条（4）、第7条（2）で規定している。相談窓口については周知の徹底と機能強化を政策提言で行う。

【質問概要 17】

明科駅にある市営駐車場だが、24時間の料金（1日1,000円）があまりにも高いので、議会で検討していただきたい。松本市は平田駅西に175台で1日200円、塩尻市は広丘駅東口に71台で1日250円だ。算定するときには民間駐車場の料金ではなく、近隣自治体の例を参考にすべきだったのではないかな。

市営の駐車場の料金については、条例なので議決案件になる。改めて協議していただくことが必要ではないかと思う。

【回答】（経済建設委員会）

市営駐車場利用料金の算定については、維持管理費および明科駅周辺の民間駐車場利用料金（民間経営圧迫）等を加味した算定となっている。経済環境等状況変化の中で議会としても検討したい。

【質問概要 18】

明科駅の利用者の向上を図ると行政が説明しているが、26台あった駐車場が12台になっている。障害者用が1台分あるが、車が止まっているのを見たことがない。

松本行きの電車に乗るには、階段の上り下りをしないと乗れない。車椅子や足の悪い方は明科駅の障害者駐車場を利用しても使えないのではないかな。何のための再開発だろうかという疑問がわく。

【回答】（経済建設委員会）

明科駅の利用者（送迎車両含め）の向上を図ることをコンセプトとし、駅および周辺の再開発が進められた。地形上の制約から駐車場の減車となった。

障がい者（車椅子等）高齢者も使いやすい明科駅を求め議会としても要望していく。

【質問概要 19】

専門的なあるいは地域の事案に関心のある方々と意見交換をする場所として、議会サポーター制度、あるいは議会アドバイザー制度を導入していただきたい。

【回答】（議会運営委員会）

議会アドバイザー制度については、内容を勉強し検討していく。

【質問概要 20】

今年10月に市長選・市議選がある。市内4つの高校の生徒に啓発することと、選挙権がある子どもたちが投票に行けたのかというデータをつくってもらいたい。選挙に関心を持ってもらいたいと同時に議会にも関心を持ってもらいたい。

【回答】（松枝議長）

意見は選挙管理委員会に繋げるが、議会としても高校生との交流に取り組みたい。

【質問概要 21】

行政とのやり取りの中で、「子どもの権利条例」案の条文が 20 か条あったものが 9 条まで縮まったことの経過の詳細は。

【回答】（福祉教育委員会）

委員会においても理念条例か政策条例かの議論があった。素案作りの中で政策的な部分がいくつかあったが、予算措置はどうするのかという問題もあった。行政側との意見交換や委員会内での議論を通じて理念条例を作ることとなり、内容を見直した結果、条文数も減じた。

【質問概要 22】

「子どもの権利条例」の制定を急がなくてはならないのか。理念条例の理念を誰が実施、継続していくのか。

【回答】（福祉教育委員会）

意識調査アンケートでも子どもの約 8 割がその内容について知らない。昨今の社会情勢も鑑み、子どもの幸せの実現のために条例制定を進めた。また条例では、子ども、市、市民、議会のそれぞれの役割を明記した。具体的には「子どもの権利の日」が条文にあり、その取り組みの契機となる。

【質問概要 23】

「子どもの権利条例」の市民説明会にお母さん方も含め 50 名集まった。これは子どものいる全家庭の何%に当たるのか。1 回の説明会で大丈夫なのか。

【回答】（福祉教育委員会）

具体的に何世帯が集まったのかは把握していない。説明会は 1 回だが、条例をつくり「子どもの権利の日」を設定したことで、子どもの権利の理念が安曇野市に根付いていく取り組みが始まっていく。

【質問概要 24】

ここ 3、4 年くらいハラスメントとか内部的な関係のことが続き、大事な時間を事後処理的なところに使われていると思う。

法律をベースに、起こってしまって動くより起こる前にいろいろなことに当たるといふ仕組みを取った方が効率よく 500 億が使えると思う。

ほとんどがコストの割り振りを云々するだけで、どうやってこの安曇野にお金を持ってくるかということに対して全く蚊帳の外みたいな状況だと思う。

後 10 年もすると百姓がいなくなる。そうすると、残された 5,000 町歩、山林が何千町歩とあるがどうなるんだろうということに対して、行政からも、議員からも全く出てこない。だったら 5,000 町歩を 10 町歩ずつ分けて 500 人の百姓を育て、今の米価で納める金額じゃなくて、消費者に売っている金額をベースにして農業を事業展開するような考え方を新たに安曇野に起こす、自分の採ったものを自分で値をつけて売るといふ仕組みを安曇野全体で考えていかないとちが明かない。

子どもの条約より、子どもにしっかり飯を食わせろということだ。6 人に 1 人の貧し

い人たちがいるとすると、そんな条例とか格好つけるじゃなくて、しっかり飯を食わせてやれるだけの財政を安曇野で取れるような仕組みを第一条件としてやらなきゃいけないと思う。このことに対して踏ん張ってもらいたい。

【回答】（経済建設委員会）

ご指摘いただいた通り、地域継承をしていくには、農業従事者（新規就農者、担い手）を増やすことを最重要課題として取り組んでいる。

現在のままでは10年後に農地が遊休化し、産地自体が衰退する恐れがあるとの指摘もあり行政と地域が一体となって支える仕組みが重要だ。

経済建設委員会では、農業を中心としつつも、それだけに依存しない持続可能な地域経済の実現を目指し、若者のチャレンジを支える制度や支援策の強化を図っている。

このようにして「自分で採って（収穫）自分で値をつけて売る」という新しいスタイルを、既存（行政・JAによる）の支援制度や地域活動と組み合わせることで、安曇野の未来の“稼げる農業のカタチ”を築いていくことができると考える。今後、市民の皆さまとの対話の中で生まれた課題や提案をもとに、より効果的な制度設計を議会としても提案していきたい。

【質問概要 25】

農業ばかりじゃない。明科で、実際に長男長女が結婚できない。5年、10年すぐ来ちゃう。その原因は、金がないということ。どうやって金をつくっていくかという仕組みが安曇野にない。長男長女が自分の田んぼや畑というのを守っていければ、少なくともお祭りも残るし、地域としての営みというのは残る。それを行政とか議員がサポートするような仕組みをやってもらいたい。

【回答】（経済建設委員会）

ご指摘の通り、農業以外の収入源が乏しく、若い世代が地域に定着しにくいという課題は、安曇野市としても深刻に受け止めている。特に子ども達が家や農地を守りつつ結婚・定住できる仕組みの必要性について、私たちも強く認識している。

現在、地域資源を活かした雇用の創出、農業の6次産業化、観光や移住促進施策などを通じて、若者世代が地域で将来を描けるような経済基盤づくりを議会としても提案していく。

今後も市民の皆様的心声を反映しながら、地域の営みやお祭りといった伝統が守られていくよう、行政・議会が連携して取り組んでいく。

【質問概要 26】

一つは、地下水の問題で継続審査になっているが、地下水自体は減っていないくて、自然現象が多い。降水量も少ないと皆さん思っているけれど、山自体が誰も今整備をしていないので、雨が降っても結局浸透しない。地下水として出てこない。

もう一つは、安曇野市は平成のときは観光客は多かったけれども、今は観光客というのはほとんどいない。それは魅力のないことにしたから。だから、私はホテルを穂高に造ってくれるということになれば、誘致するべきだと思う。

先ほど委員長が9月の議会するときしか条例が決定できないというが、1年や2年の間

題じゃない。早急に臨時議会を開いて、条例を決めてもらいたい。

【回答】（松枝議長）

穂高地域で計画されている新たなホテル建設が、地下水に悪影響を及ぼすのではないかと、慎重な対応をとる趣旨での陳情が議会に出された。審議中であり、今後の経緯を注視してほしい。

現在、議員発議の「ハラスメント防止条例」、「子どもの権利に関する条例」の制定に取り組んでいるが、多くの意見を聞き、様々な対応を重ね、良いものにしたいとの考えで進めている。

【質問概要 27】

現在この国で1年間に自殺をする子供は2024年で過去最高の527人。これが現在の子どもを取り巻く社会の現状だ。子ども関連の予算がどうしても必要になる。安曇野市で実現してもらいたい。先生をとにかく楽にしてあげないと、子どもを取り巻く環境はよくなっていかない。

【回答】（福祉教育委員会）

「子どもの権利に関する条例」の制定をきっかけに、子どもたちと子どもたちを取り巻く環境が少しでも改善されていくように議会としても取り組んでいく。

【質問概要 28】

今、安曇野市の消防団員が不足している。ポンプ車を出すのに最低3人いなければ消火活動に出動できない。残念ながら、狐島から消防団長を出しながら、狐島は団員数が本当に減少し、北穂高の方も少なくなり、穂高も全体的に消防団員が少ない。区長会でもどうしたらいいかと悩んでいる。ぜひ市議会でどうやれば地域の消防団が存続できるか検討してもらいたい。

【回答】（総務環境委員会）

少子高齢化や若年層の価値観の変化により、新規入団者が減少している。消防団員不足への対策としては、処遇改善や広報活動の強化や地域との連携などが挙げられる。安曇野市消防委員会が検討しているが、市議会も協力していくことが必要だ。

【質問概要 29】

私はろう者だが、昨年参加して、手話通訳がついたおかげで内容を把握することができた。今回字幕もついて、配慮してもらいたい。

情報保障に関してはこの議会報告会だけなので、例えば市議会のホームページの中に動画があるが、それを見ると、字幕がついていない。市議会のホームページの中の動画にも字幕や手話通訳をつけてもらいたい。

【回答】（松枝議長）

昨年の議会報告会で要望をいただき、今回はモニター画面への字幕表示を実施したが、さらなる対応も可能な範囲で検討したい。

【質問概要 30】

安曇野市議会も発足してから議員定数が大分減ってきた。現在、議員が3人減った。議員活動の現場の感覚として、議員定数を減らす検討をされた方がいいのかどうか。あれだけの選挙をやって公職を得たにもかかわらず、あっさり辞めた方がいるので、これはまずいのではないかということでおきたい。

【回答】（松枝議長）

ご意見を真摯に受け止め、今後の議員活動、議会運営の参考とさせていただきたい。